



なんよう



No.109
2019.7.1



会長就任 挨拶

楠葉同窓会会長 江口 洋一

令和元年の総会が無事終了した5月末、日本列島は各地で記録的な猛暑でした。この挨拶文が目につける頃には「酷暑」真っ盛りの時期かもしれませんが、皆様方におかれましては恙なくお過ごしのこととお慶び申し上げます。

総会は、関東支部から沖縄支部まで全国各支部より16名の支部長の参加により開催され、事業計画・予算案とともに改選に伴う新役員体制が承認されました。

会長には、凶らずも不肖私が3期目の会長職を引き受けることになりましたが、理事には、新人を8人加え、内6人は平成年度の入学者と若返りを図り、副会長は3人から5人体制にし、機動力を高める工夫や、大学との連携強化に大学に在職している理事を4人追加するなどの刷新を図りました。最近言及されている、SDGsではありませんが、今後とも楠葉同窓会が持続的に発展できるように新体制で頑張りたいと思いますので、ご指導ご支援のほどをよろしくお願いいたします。

ところで、平成30年度の総会でお話ししていた機関誌「なんよう」と同窓会名簿の作成につきましては、各支部で協議を頂き次のような結論に達しました。

機関誌は年1回の発行とし、発行時期は全学と時期を合わせて7月とする。これは、同窓会HPによる情報提供に努める事で印刷費用の節減と、発送費用についても全学と一緒にすることで軽減するものです。

また、名簿については個人情報保護の観点から製本は行わないが、事務局による情報収集と、その管理を強化する。会員からの要望に対しては必要な部分のみを提供することにしました。

どうかご理解を頂きたいと思います。

ただ、終身会員の373名の皆様には、名簿の提供ができなくなりますので本年の4月にお断りの通知をさせていただきました。

また、同窓会最大のイベントである10月に開催しております「交流会・懇親会」につきましては学生の参加者が62名と同窓生の参加者と同じくらいになっております。学生時代から同窓会の存在を十分認知してもらい、卒業後も同窓会の一員として各支部の活動にも参加してくれることを期待しております。

今後とも、交流会・懇親会が益々盛会になればと思っています。

本年度は、昭和54（1979）年に文理学部同窓会を発展的に解消し、楠葉同窓会が発足して40周年を迎えようとしています。過去の活動を記録的に整理した「40年史編纂事業」の成果も10月の交流会・懇親会において報告することにしております。是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。



佐賀大学楠葉同窓会 役員名簿 (H31/4～R3/3末)

役職	氏名	(入学科・学年)	[担当]
会長	江口 洋一	(経済・昭44年)	
副会長	長 安六	(経済・昭40年)	[総務]
副会長	荒木 昌史	(管理・昭51年)	[名簿]
副会長	大塚 浩司	(経済・昭55年)	[組織]
副会長	江口 達也	(経済・昭56年)	[会報]
副会長	八谷 浩司	(管理・昭57年)	[情報]
理事	江口 邦子	(経済・昭48年)	[総務]
理事	松尾 和俊	(経済・昭58年)	[会報]
理事	坂田 智宏	(経営・昭58年)	[会報]
理事	笠原 幸雄	(管理・昭59年)	[組織]
理事	西村 哲也	(管理・昭61年)	[名簿]
理事	坂本 裕三	(管理・昭62年)	[会報]
理事	志波 良	(経済・昭63年)	[組織]
理事	中村 桂子	(経営・平2年)	[情報]
理事	泉 朋良	(経済・平4年)	[情報]
理事	中島 誠一郎	(経済・平8年)	[名簿]
理事	坂口 暁哲	(経済・平9年)	[会計]
監事	公門 章弘	(経済・平2年)	
監事	黒木 泰彦	(経営・平7年)	
顧問	久間 善郎	(法律・昭32年)	
顧問	梅崎 正道	(経済・昭33年)	
顧問	石丸 新	(法律・昭40年)	

令和元年度の楠葉同窓会総会を「アパホテル」にて開催

令和となり1回目の楠葉同窓会総会が5月25日(土) 16時から佐賀市内のアパホテル(旧佐賀ワシントンホテルプラザ)にて開催されました。

総会では、江口楠葉同窓会長の挨拶の後、平成30年度事業・決算についての報告があり、引き続き令和元年度事業計画案・予算案について審議が行われ、40年史編纂事業費などを含む事項が原案どおり了承されました。

また、任期満了に伴う役員改選の結果7名の新役員が選任され、副会長を5名制とする会則の改定が提案、了承されました。

再任された江口会長からは、今回役員の若返りができて楠葉同窓会のさらなる発展を期待する旨の発言がありました。

総会後は、各部会から最近の動向などについて報告があり、続いて総会会場階にある「ぎんざ亭」にて懇親会が開催されました。会は、今回初めて出席された方や新役員のご紹介もあり、和やか雰囲気の中での楽しいひとときとなりました。

総会

【日 時】 令和元年5月25日(土) 16時～

【会 場】 アパホテル(旧佐賀ワシントンホテルプラザ) 11階 「若楠ホール」
佐賀市駅前中央1丁目164番地 (TEL 0952-25-1111)



令和元年度楠葉同窓会 交流会・懇親会のご案内

同窓生の絆を深めるとともに、学生に対しては社会人としての大事なこと、仕事に対する心構え、就職活動への助言等を行い、コミュニケーション能力の向上に資することを目的として開催しますので、ふるってご参加ください。(※お問合せは、楠葉同窓会事務局まで)

交流会

【日 時】 令和元年10月26日(土) 15時～

【場 所】 経済学部4号館



懇親会

【日 時】 令和元年10月26日(土) 18時～

【場 所】 佐嘉神社記念館



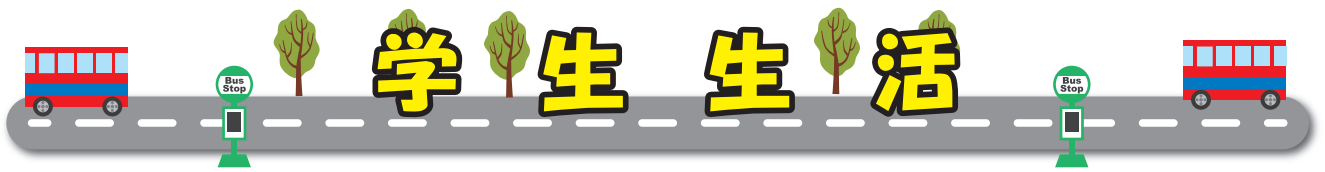
第8回佐賀大学ホームカミングデーのご案内

【日 時】 令和元年11月16日(土) 午後～

【場 所】 佐賀大学本庄キャンパス

【対 象】 卒業年等にかかわらず、すべての同窓生と本学の名誉教授

※詳しくは、佐賀大学校友会のHPをご覧ください。(URL <https://koyukai.admin.saga-u.ac.jp/>)



佐賀大学に入学して

経済学部 経済法学科 1年 朝比里緒菜

経済学部経済法学科1年の朝比里緒菜です。私は将来、経済的な視点から地域活性化をするような、地域と密接に関わる仕事がしたいと思い、佐賀大学に入学しました。入学してまだ1カ月ほどしか経っていませんが、高校生の頃とは違い、自分でできることが増え、毎日充実した生活を送れています。佐賀大学では経済学など専門的な分野の学習はもちろん、学習面ではありません。多種多様な活動も充実しているので、自分の興味のあることを選択して行えます。例えば、私は佐賀市役所環境政策課のインターンシップの参加、よさこいの嵐舞というサークルや手話ができるサークルなどの活動をしています。身の回りの環境などについて学びを深めることが出来たり、たくさんの人と楽しく踊ったりなど、非日常的なことが体験できるのも魅力の1つです。どんな活動も自身のコミュニティを広げることができ、講義とはまた違った体験をすることができて、とても楽しいです。

まだ大学生活は始まったばかりです。しかし、佐賀大学でしかできない貴重な経験ばかりだと思うので、今できることを大切に、積極的に活動できる4年間を過ごしたいと思っています。そして、将来の目標に向けて自分のスキルを磨くため、佐賀大学でしっかり学んでいきたいと思っています。



人生の夏休み

経済学部 経営学科 2年 中村 真維

私が佐賀大学に入学したきっかけは、自宅から通える地元の学校だったからです。

また、社会の中心となる経済について勉強したいと思っていたため、経済学部を選びました。佐賀大学は他大学に比べ、経済・経営・経済法の縛りが少ない点が良いところだと思います。私は経営学科ですが、経営や会計だけでなく、民法や社会情報など興味分野に合わせて様々な授業を履修しています。

「大学生は人生の夏休み」とよく高校の先生が言われていました。

入学してみると確かにそうで、2か月もある夏休みや春休み、授業の空きコマなど、驚くほどたくさんの時間がありました。

もちろんバイトやサークル活動も行っていますが、それだけではなく「大学生でしかできないことにチャレンジしたい」という強い思いもあり、積極的に様々な活動に参加するようになりました。

大学1年生の夏には友人から紹介されて「議員インターンシップ」というものに参加しました。議員インターンシップでは、議員さんの様々な活動に同行したり、自分たちで政策を考えたりしました。今までどこか他人事のように感じていた政治について知ることが出来、また地元佐賀の良さも再確認することが出来ました。

また、春休みには大学で募集されているSUSAPに参加し、10日間香港へ行きました。初めての経験ばかりで、文化の違いや現地の学生の積極的な姿勢にとっても刺激を受けました。そこで出会った皆とは、佐賀に帰ってきた今でもインスタグラムやラインなどで頻りに連絡を取り合っています。6月には香港の学生が佐賀に来るので再会が楽しみです。

佐賀大学は、国際交流も盛んな大学なので、今後もこのような機会を大切にしていきたいです。

「人生の夏休み」これからもいろいろなことにチャレンジしていきたいと思っています！





営業時間：9：30～18：00
 店休日：月曜日／
 博物館・美術館休館日
 住 所：佐賀市内1-15-23
 佐賀県立博物館 1 F
 駐車場：博物館・美術館駐車場



近ごろ、佐賀におしゃれなカフェが増えてきました。特に佐賀大学正門からちょっと東に向かったお堀周辺にはいくつものカフェがあり、昼休みや休日の楽しみになっています。

その中で今回紹介するのはおしゃれなカフェの先駆けcafé TRESです。café TRESのオーナーはなんと佐賀大学出身！（残念ながら理工学部ですが）の清田祥一朗（きよた しょういちろう）さん。清田さんは学生時代ワーキングホリデーでオーストラリアを旅したときにおしゃれなカフェに出会い、佐賀にもこんなカフェを作りたいと思ったそうです。

その後、念願かなって13年前に佐賀市立図書館内にあるcafé Pangaea（パンゲア）をオープンされました。

清田さんがオープン当初心がけたのは人が集まる居場所づくり。それから次第に「食の安全・安心」と「地産地消」を意識するようになり、現在では自ら畑を耕し野菜を作られています。次に考えたのが若者の働き場所作り。café Pangaeaのほかに佐賀県立図書館内DAYS KITCHEN、佐賀県庁地下café BASEと4店を経営する若き起業家でもあります。

そんな清田さんが手掛けるcafé TRESはシンプルでおしゃれ。大きな窓から見える四季折々の景色に心が癒されます。ゆったりした空間でのんびり本でも開けば至福の時間を過ごせること請け合いです。

メニューのごはん、スイーツ、ドリンクはとても美味しく、しかも身体に優しい。さらにインスタ映え！と目にも美しく◎。日替わりランチやデザートは旬の食材が活かされて「そう来たか」と唸られることがしばしば。季節限定メニューは要チェック。これを口にしないと季節を迎えた気にならないほどです。

以前「こんな近距離にいくつもお店を持っていて競合しないのですか」と尋ねたところ「近くなので食材や人材を有効活用することができると目からウロコの発想に驚かされました。働き方改革にも意欲的でオーナー自身が休暇を楽しむ姿をインスタで目にするがあります。

何だかお店ではなく人物紹介みたいになってしまいましたが、訪れるたびに進化を続けるcafé TRESは何回通ってもみなさんを飽きさせることはないでしょう。

江口 達也（経済・昭56入）

就職状況は良好 —先輩との交流は、後輩たちの心の支え—

経済学部就職委員長 平地 一郎



楠葉同窓会の皆さま、本学部学生の就職等のためのご支援を頂いていることに、心から感謝申し上げます。

今年3月に卒業した学生たちの就職率（内定率A）は97.5%とこれまで以上に良好でした。教員一同、安堵しているところです。また、内定のないまま卒業していった学生に対しても、就職委員会は続けて支援していく予定です。

新規採用市場が好転しているとはいえ、本学部学生が目指している企業の求人状況は依然として厳しく、就職活動の困難は依然として残っています。その中で、学生の就職活動が順調に進んでいるのは、楠葉同窓会

のご協力とご支援があつてのことと思います。

初年次学生向けのOB・OG講話や2～3年次生向けの業界・業種研究など、皆さまからのご支援を頂き、感謝の念に堪えません。また、50周年記念経済学部ホームカミングデー以来積み重ねてきた楠葉同窓会の皆さまとの交流会は、就職にのぞむ学生の自信につながっています。昨年度の交流会は、ゼミ活動の紹介の他、実践インターンシップの受講者による報告会も行いました。学生の報告に対する皆さまからのご意見等も大いに参考になったと思います。

先輩との交流は、後輩たちの心の支えになっています。どうぞ、一層のご支援をよろしく願います。

同窓会長賞を受賞して

経済学部 経済法学科（平成31.3卒） 渋谷 佳那

この度は同窓会長賞というとても光栄な賞をいただき、本当に嬉しく思っております。この場をお借りして岩本先生はじめゼミ生の仲間、そしてお力添えを頂いたすべての方々に感謝しお礼申し上げます。

私たちのゼミでは共同研究活動として、外部機関と連携して消費者保護のための啓発資料の作成や、地域フォーラムでの報告・発表、地元の消費者団体との合同啓発劇などといった活動に取り組みました。

ゼミの活動を通し特に印象に残っているのは、普段あまり関わる機会がない立場や年代の方々と一緒に活動することができたことです。様々な人

の意見や考えに触れることでたくさんの新しい発見があり、とても刺激になりました。また啓発活動をする中で、消費者の生の声に触れ、テキストなどで勉強するだけではわからないリアルな現状を学ぶことができました。

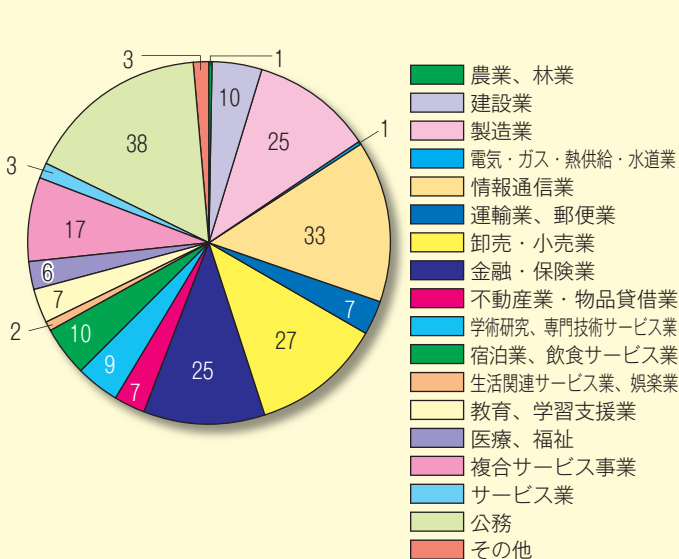
さらに、何度も話し合いを重ね、互いをカバーし合っていていき、みんなでひとつのものを作り上げることの大変さを改めて学ぶことができました。論文や発表会の資料などそれぞれが分担したところをどのようにまとめるのか苦労しましたが、岩本先生にアドバイスを頂いたり、みんなで意見を出し合ったりすることで完成させることができました。そのときの達成感は今でも忘れられません。

振り返るとゼミではフォーラムでの発表から寸劇や人工イクラの実演まで本当に様々な幅広い活動に挑戦させていただき多くのことを学びました。これらの活動はどれも貴重でかけがえのない思い出です。この経験ができたのはまわりの多くの方の支えがあったからこそです。感謝の心を忘れず、これらの経験から学んだことをしっかりと心に留めて、これからも日々目標に向かい突き進んでいきたいです。

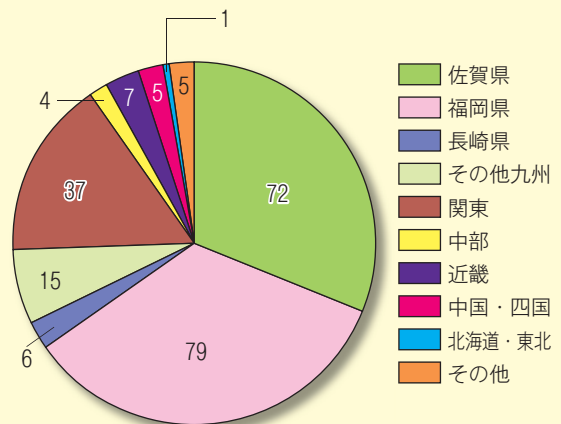


平成30年度 経済学部の就職状況

産業分類別就職者



地域別就職者



支部だより

豊後はがくれの会（大分支部）に参加

平成30年11月3日(土)大分市の大分アリストンホテルで開催された。当日は駅前通で約四十台の山車が練り出しており大変な賑わいであった。以前は大分市内には100台の山車があったそうだ。また、通りには「赤レンガ館」(旧大分銀行)があり、東京駅を建築設計した「辰野金吾」の設計とあった。唯、残念なことに彼が佐賀県唐津市の出身者である事は説明されていなかった。

ところで、総会においては

- ・10月27日(金)に九州北部豪雨の被災地に訪れられた天皇皇后両陛下に対して原田文利氏(農学S52卒)が被害や復旧の状況などを説明された
- ・12月1日(金)「日田市有志の会」が開催され支部長はじめ8名が参加された

- ・3月31日(土)春の花見会を中津市で開催 9名参加
 - ・5月12日(土)ゴルフコンペ開催 8名参加
 - ・10月19日(金)元副学長、現大分短期大学学長の田代洋丞先生を囲み懇親会を開催 4名参加
- 等が報告され、他支部にない活動を積極的に展開されていた。

参加者は26名で、楠葉同窓会からの出席者は谷本親史(S37卒)・仲道浩治(S42卒)・安養寺壽昭(S45卒)・阿部敏雄(S49卒)・中根正勝(S60卒)・小名川真起男(S61卒)・宗真也(S61卒)・臼木雅彦(S62卒)

江口 洋一(経済・昭44入)

諫早支部会に参加

平成30年11月9日(金)諫早市のL&Lホテルセンリュウで開催された。新幹線を迎えるための新しい駅の建設が進められていた。諫早市は、龍造寺・鍋島家とゆかりのある町であるが初めての訪問であったので市内を散策した。眼鏡橋は長崎市が有名であるが、それに負けないぐらいの素晴らしい眼鏡橋があり、公園に移設されているが背景の風景とのマッチングはまさにインスタ映えするものであった。

水害が多い土地であったために永久不壊の工夫がしてあるとのことで、此の橋を渡れば永遠の愛を誓うことになるとのことであった。「愛のスポット」して積極的PRが望まれる。

懇親会では桃下大氏(農学S44卒)による「ユスリカの生態について」の講演があった。諫早湾大堰による生態系の変化について非常に興味ある報告がなされた。その後は参加者13名による近況報告が賑やかな雰囲気な

かで行われた。

楠葉同窓会からの出席者は宮下武美(S37入)1名であった。

江口 洋一(経済・昭44入)



佐世保支部『むつごろう会』に出席

平成30年11月10日(土)午後3時から佐世保市レオプラザホテルで総会及び懇親会が開催されました。

総会では、臼井寛会長(文理S30入)の挨拶の後、会計報告や役員紹介等がなされました。

引き続き講演会が開催され、講師の臼井会長から『祖父が遺した戦争』米軍カメラマン……よみがえる記憶』の演題で講演されました。まず、NHK鹿児島放送局で制作され、全国放映された番組(スコット・ハイニンリッヒ氏が、祖父が写真で遺された佐世保、鹿児島大空襲の被災地を巡り、戦争の傷跡等を振り返るといったもの)をDVDで鑑賞したのち、臼井会長が戦争で家族を亡くされた体験等を基に「正義の戦いや聖戦というものはない。戦争はむごいもの。」ということ、またこれまで臼井会長が取り組んでこられた佐世保空襲死没者「墓銘碑(熊野町)」建立の経過等について、ご講演されました。

懇親会の中では、祝吟として、松口月城作の『観光佐世保』を臼井会長から、また祝舞を岡村洋子さんから披露された後、乾杯、そして懇談がなされました。最後

は、学生歌(楠の葉の)、寮歌(南に遠く)で盛り上がりました。

非常に楽しく、盛り上がった懇親会でした。

中尾 政幸(経済・昭58入)



東京支部総会・懇親会に参加

平成30年11月11日(日)に新橋の「新橋亭」で開催された。2年に1回の開催であるが参加者は52名と支部のなかでは最も多い盛大な会である。

総会において支部長の交代が承認された。長年にわたり東京支部を牽引されてきた和田紘一氏(文理S36入)から岩村竜也氏(経済S54入)へと一挙に若返りが図られた。参加者のなかでは、文理卒が11名、経済卒が9名であり楠葉同窓会が中心となった組織であることが窺える。新支部長の岩村氏は本部の総会や交流会・懇親会にも例年参加していただいている。今後の活躍と会の盛会を期待している。

大学の幹事を務められている北村博氏(経済S42入)も出席されていた。

懇親会においては「佐賀からの報告」として各学部同窓会より活動報告を行った。もちろん、楠葉同窓会40年史編纂について説明をさせてもらった。また、福引きが行われ、当選者から近況報告も併せて行われるなど賑やかな会であった。最後に和田氏より力強い巻頭言が行わ



れた。これこそが正調の巻頭言ではなかろうか。最後に時節柄の「新橋亭・月餅」を土産にいただいた。

楠葉同窓会からの出席者

前田恭平(S29入)・吉田保(S29入)・北島健雄(S30入)・牧瀬貢(S31入)・永渕素行(S33入)・田村正勝(S33入)・水田要(S33入)・小泉伍子(S34入)・和田紘一(S36入)・江口充治(S37入)・三本勝(S40入)・稲山岩夫(S41入)・北村博(S42入)・吉武啓次(S53入)・岩村竜也(S54入)・冨下敬資(S56入)・博多正毅(S57入)・岸ミユキ(S60入)・末永一光(S60入)・西林志郎(S60入)

江口 洋一(経済・昭44入)

佐賀大学同窓会 伊万里地区会 総会・交流会に出席

平成30年11月23日(金)午後2時から伊万里公民館研修室で総会及び交流会が開催されました。

総会では、小杉道久会長(教育S42卒)の挨拶の後、小池良美佐賀大学同窓会副会長の祝辞、会計報告や会員発表がなされました。

会員発表では、佐賀県立有田工業高等学校の熊谷正実教諭(理工S55卒)から「私の人生」として、御講話がありました。「人生いろいろ。人の人生というものは神様が導いてくださるところが最良の居場所である。」として、貴重なお話をお聞かせいただきました。

引き続き、交流会が開催され、ハーモニカ演奏の後、木本信二地区会副会長(医H元卒)の乾杯、そして懇談がなされました。

ハーモニカ演奏は、「いまりハーモニカクラブ清香会(せいこうかい)」から岩永憲一良、松本昌倫、円田滋、石本洋子の4名様が、3曲披露されました。1曲目は「里の秋」、2曲目は「青い山脈」をダブルハーモニカで、



そして、3曲目の「ふるさと」はハーモニカに合わせて全員で歌いました。

非常に楽しく、盛り上がった懇親会でした。

なお、楠葉同窓会からは、田中秀彦(文理S29入)・松尾清(文理S37入)・佐々木慎二(H4入)・松尾仁志(H5入)・中尾政幸(S58入)の5名参加でした。

中尾 政幸(経済・昭58入)

令和元年度 新着情報 5月18日「熊本支部総会に出席」

令和元年5月18日(土) メルパルク熊本で開催された。

熊本城の復旧状況を確認したくて早めに出たが、残念ながら雨であった。そこで会場までアーケード街を歩いていくことにしたが、上通、下通ともに若い人たちが賑わっていた。地元佐賀市のアーケード街とは比べようもないが都市の活力の違いは歴然であることを痛感した。

支部総会では、会友報告で高口義幸氏(経済S49入)が「地方創生と人材定着」で講演されたが、人材還流システムの構築に係る取り組みが若者定着に大きく寄与しているのではないかと合点したところである。

会を重ねる毎に新しい試みがされており、今回は参加者の一口メモを記入してもらい、それを集約して後日支部で把握されている会員全員に送付されるようだ。趣味・チョット一言欄があり会友同士の親交が深まる工夫と思われる。

今回は、農学部出身の会友から「胡蝶蘭」が提供され、抽選で数名に提供された。たまたま、私も一鉢いただけ



る事になった。折しも20日は妻の誕生日であったので、熊本からの土産として贈らせていただいた。

楠葉同窓会の会員の参加者は以下の10名であった。

阪井大文(S40入)・寺嶋健(S37入)・嶋田久義(S47入)・土本陸夫(S47入)・高口義幸(S49入)・小笠原長昭(S53入)・下川信行(S54入)・山本清和(S56入)・嘉永秀俊(S59入)・遠山真浩(H18入)

江口 洋一(経済・昭44入)

沖縄新支部長

金城 毅



この度、沖縄支部長に就任致しました金城毅と申します。約10年ぶりの支部長の交代となります。少しばかり自己紹介を致しますと昭和50年度入学ですが、スタートは理工学部工業化学科です。卒業後は地元の沖縄に戻るとつもりで就職先を探しましたが、製造業が少ない土地柄で希望するような就職先が見つかりませんでした。4年次のある日、同郷の農学部のS君が一冊の本を私にくれました。地元の琉球銀行の調査部のあるエコノミストが著した沖縄経済を分析した本です。読み終えると赤鉛筆で真っ赤になるくらい線を引いていました。生きた経済の面白さに惹かれ、理工学部卒業後の昭和54年度に経済学部の専門課程に学士入学しました。ゼミは計量経済学で担当教官は当時、経済企画庁を退官されて教授に就任された古賀誠先生でした。卒業後は琉球銀行に就職でき、入

行後は希望していた調査部での仕事に長く就くことができました(調査部勤務が長かった分、銀行員としての専門知識はほぼゼロという代償が付きましたが)。40代で現在の職場である南西地域産業活性化センター(一般財団法人のシンクタンク)に出向し、定年時に転籍して今日まで沖縄経済の調査の仕事に携わっています。趣味はけっこう欲張りで、関心が向くと、とりあえずその関連本を衝動買いしますが、ほとんど積読になっています。なんとか続いているのは日曜大工とテニスくらいです。日曜大工は一人でウッドデッキを製作する腕前ですが、テニスは健康目的でやっており、年季の入ったオバ様方に試合でなかなか勝てません。沖縄支部の話になりますが、私の世代より若いメンバーの同窓会への参加が少なく、高齢化の波が押し寄せております。とりあえず企業訪問や様々な懇親会の場合などを利用して、所属組織に同窓生がいらないか尋ねてみることから始めたいと思います。新支部長として不慣れではありますが、精一杯努めていく所存です。何卒宜しくお願い致します。

本 部 便 り

会費納入のお願い

同窓会活動は、会員の皆様の会費によって賄われています。近年、卒業後の会費納入率が低下しており、同窓会運営も厳しくなっておりますので、誠に恐縮ではございますが、母校同窓会活動の趣旨をご理解のうえ、下記の要領でお手続きいただきますようお願い申し上げます。

なるべく 10年会費、終身会費での納入をお願いします。

会費区分 1年会費……2千円

10年会費……2万円

終身会員……6万円(10年会費既納入者は4万円)

会費納入の手続き(ゆうちょ銀行、郵便局)

払込取扱表は「赤」の用紙を利用。下記の口座番号、加入者名を記入依頼人の覧に氏名(入学年度)、住所、電話番号、勤務先・会費区分を明記の事

住所変更などの報告

同窓会会員名簿は、会員と同窓会、会員と大学、会員相互を繋ぐ資料として、また大学・同窓会が必要とする広報・統計資料として活用しています。個人情報、同窓会の財産として同窓会事務局で厳重に保管・管理を行います。

変更があった場合の手続き

氏名(入学年度)、住所、電話番号、勤務先を明記して、下記事務局に電話・FAX・メールでお知らせください。

○会費の特典が一部、見直されました
令和元年5月25日以降に本同窓会に入会される場合、入会金の特典が1年会費「1年間会報無料」に、終身会員の特典が「会報無料」となります。

編集後記

民法の改正により2022年4月から成年年齢が現行の20歳から18歳に引き下げられることをご存知ですか。現行法では20歳未満の者には未成年者取消権が認められており、保護者の同意を得ずに行った契約は原則、取り消すことができますが、以降は18歳、19歳の者は行使できなくなります。周りの若者に是非、周知をお願いいたします。

坂田 智宏(経済・昭58入)

発行 佐賀大学楠葉同窓会

佐賀市本庄町 佐賀大学菱の実会館内

TEL 0952-23-1253

FAX 0952-25-5700

E-mail: dousokai@sadai.jp

発行者 江口 洋一(経済・昭44入)

編集 松尾 和俊(経済・昭58入)

代表者 郵便振替 [01760-9-25635]